

# 盲児の指導

**主催 江原明進盲学校**

**期日 2015年12月3日(木)**

**社会福祉法人明日佳  
社会福祉法人長沼陽風会  
顧問 鈴木重男**

# 田 寛道先生に捧げます

私は、1997年2月、北海道サッカー協会常務理事時代、ソウル特別市サッカー協会との交流開始のため、貴国を訪問しました。その時、ソウル特別市サッカー協会田寛道副会長より人としての生きるべき道をご訓示頂きました。田先生は、その後サッカー協会会長になりましたが、2008年ご逝去され、京畿道の教会にお眠りになられております。

2009年8月、札幌で日韓知的障害者サッカー交流大会が開催されました。この時、韓国体育大学金源慶教授と光州女子大学金日明教授にお会いし、知己を得て、韓国の特殊教育学会、大学、盲学校に、日本の特別支援教育や盲教育の実情等をお伝えする機会を与えられました。

全ては、私の人生の師として仰ぐ、故田寛道先生のお導きによるものです。深い感謝の心により田先生に捧げます。

# 鈴木重男の経歴 1947年生

|        |                                                                  |
|--------|------------------------------------------------------------------|
| 1970年  | 北海道札幌盲学校・高等盲学校で教鞭                                                |
| 1987年  | 北海道立特殊教育センター研究員                                                  |
| 1990年  | 北海道教育委員会指導主事                                                     |
| 1995年  | 北海道札幌盲学校教頭                                                       |
| 1997年  | 道特殊教育センター企画調整課長                                                  |
| 1998年  | 北海道函館盲学校長、北海道旭川盲学校長                                              |
| 2004年  | 北海道立特殊教育センター所長                                                   |
| 2007年  | 北海道札幌養護学校長                                                       |
| 2009年～ | 札幌大学非常勤講師、学生相談室相談員<br>韓国特殊教育学会・ソウル盲学校・光州盲学校<br>光州女子大学校・全南大学校等で講義 |
| 2010年  | 北海道文教大学准教授(～2014年)                                               |
| 現在の職   | 社会福祉法人明日佳・長沼陽風会顧問<br>札幌大学・北海道教育大岩見沢校非常勤講師                        |

# 目 次

- 1 盲教育の専門性
- 2 歩行の指導
- 3 文字の指導
- 4 体育の指導
- 5 雪道の指導



雪まつり



春の札幌



冬の札幌



雪まつり





# 北海道の視覚障害教育等の現況

2014年度 日本の視覚障害教育学校

65校 3,012名 幼196名 小595名 中427名 高1,794名

2014年度 北海道の特別支援学校

特別支援学校 学校数66校 在籍者数5,374名

旭川盲学校  
20名 1922年

札幌視覚支援学校  
94名 2015年

帯広盲学校  
18名 1937年

函館盲学校  
10名 1895年

## 北海道

面積 83,550km<sup>2</sup>( 韓国の約8割 )

人口 550万人 ( 韓国の約1割 )



# 日本の義務教育段階の特別支援教育概況

義務教育年代数 1055万人

## 特別支援学校

視覚障害 知的障害 病弱・身体虚弱  
聴覚障害 肢体不自由

0.62%  
(約6万5千人)

## 小学校・中学校

### 特別支援学級

視覚障害 肢体不自由 自閉症・情緒障害  
聴覚障害 病弱・身体虚弱  
知的障害 言語障害

1.47%  
(約15万5千人)

※1  
(特別支援学級に在籍する学校教育法施行令第22条の3に該当する者：約1万7千人)

### 通常の学級

#### 通級による指導

視覚障害 自閉症  
聴覚障害 情緒障害  
肢体不自由 学習障害(LD)  
病弱・身体虚弱 注意欠陥多動性障害(ADHD)  
言語障害

0.62%  
(約6万5千人)

※2  
発達障害(LD・ADHD・高機能自閉症等)の可能性のある児童生徒  
6.5%程度の在籍率 ※3

2.7%  
+  
6.5%  
  
9.2%

# 1 盲教育の専門性



# 本講義の盲児と盲教育の定義

## 盲 児

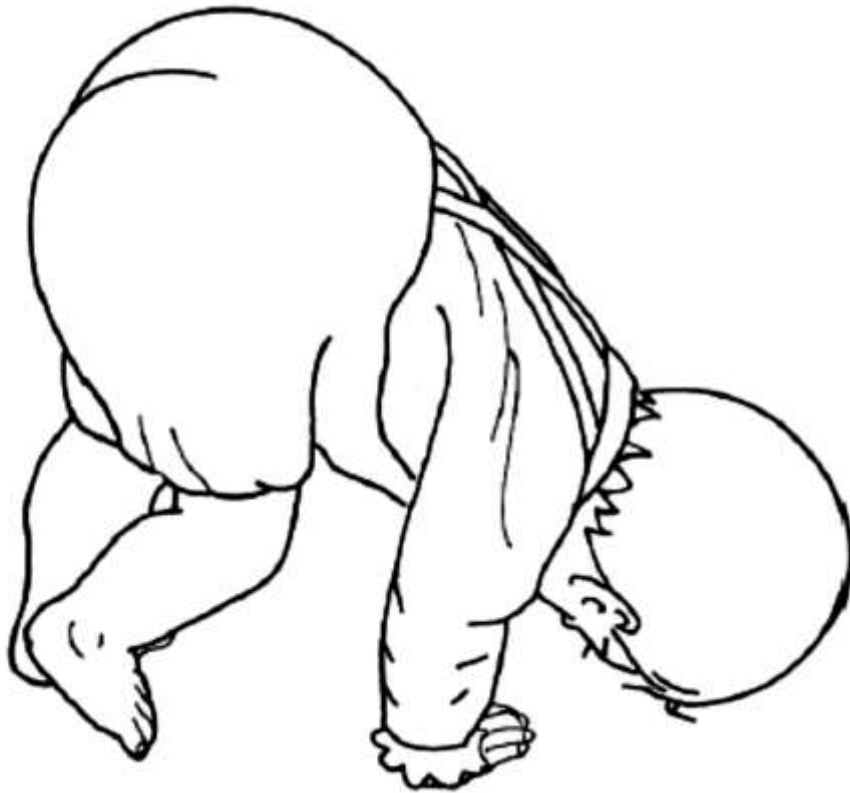
環境情報を視覚以外の  
触覚や聴覚等で  
収集・認識等している幼児児童生徒

## 盲教育

盲児のために  
特別に配慮・工夫した教育

# 盲児の基礎的指導

## 頭を支えにして移動する盲児の2事例



- 1 実態把握
- 2 知能の程度
- 3 両手介助の歩行
- 4 前方音声の歩行
- 5 階段歩行
- 6 前方音源の歩行
- 7 また、頭で歩く子が
- 8 知能の程度
- 9 その後

発達は学習を支え、学習は発達の根を広げる

視覚障害教育

**各学部**  
**内容は、基礎基本**  
**方法は、アクティブラーニング**

毎時の指導計画・評価

**家庭・寄宿舍**  
**内容は、応用・活用・発展**  
**方法は、实际生活で実施**

習得・活用・探求

# 盲教育の専門性とは

## 盲教育の専門性

盲児のために特別に配慮・工夫した教育を、盲児個々の状態等に応じて、計画、実行、評価、改善を繰り返して、盲児の持てる可能性を可能体にするこのことができる力、家庭・寄宿舎と共に連携・共働して盲児の力を培うことができる力

### 教育内容：同一性

生徒指導内容は、トップダウンで  
学習指導内容は、ボトムアップで

家庭等と

障害の  
有無を超えた不易  
の内容

### 教育方法：個別性

分かる喜び、自己肯定感を  
確かな累積で、成長の証を

家庭等と

障害の  
状況を踏  
まえた個  
別の方法



# 日本の盲学校が取り組んでいる 専門性向上の内容

日本 2013年度全国特別支援学校長会研究集録  
回答数 61校

| 取り組んでいる専門性 | 数  |
|------------|----|
| 点字の活用      | 51 |
| 障害の特性の理解   | 50 |
| 教科等の指導法    | 46 |
| 障害克服等の指導   | 42 |
| 個別の指導計画    | 31 |
| 教育相談       | 31 |

視覚を活用することが困難な幼児  
児童生徒への専門性 → 盲教育  
の専門性

視覚を活用することが可能な幼児  
児童生徒への専門性 → 弱視教育  
の専門性

教育原理は共通

教育方法は独自

# 盲教育の専門性 盲児の困難点の軽減

## 盲児の学校生活上の3大困難点

①歩行

②基本的生活習慣

③点字



盲教育の専門的な指導内容として、空間把握の基盤となるボディイメージ等の歩行指導、基本的生活習慣を身に付けさせる指導、文字コミュニケーションの基盤となる点字触読指導

# 盲教育の専門性 行動観察による視力の推定

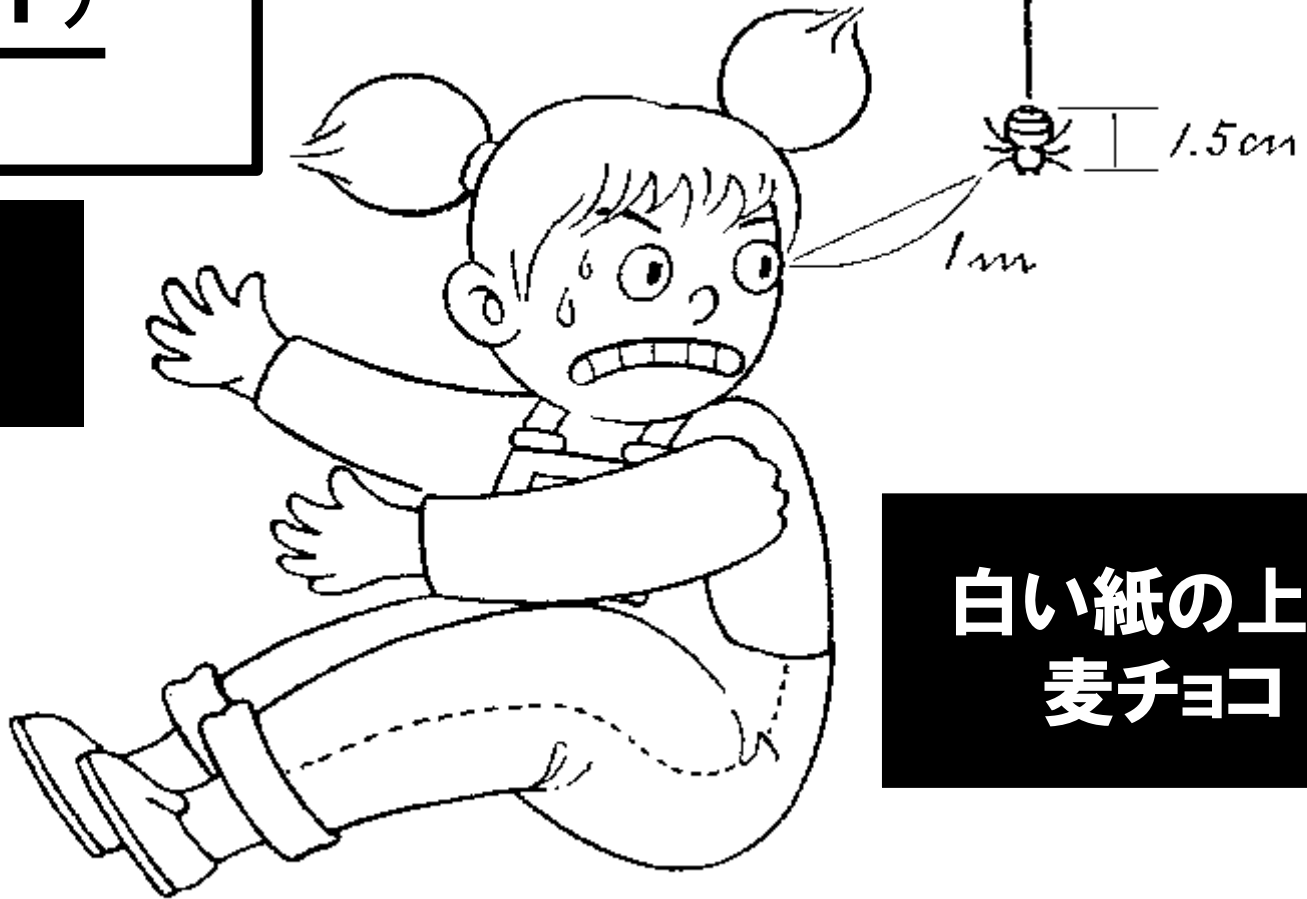
(0.3×見分けたものまでの距離m単位)

(見分けたものの長さmm単位)

$$\frac{(0.3 \times 1)}{(15)}$$

推定視力  
0.02

障害特性  
教科の指導  
教育相談



白い紙の上に  
麦チョコ

# 盲教育の専門性 視力を推定する行動観察

「ボール探し」 4.5cm大の黒ボール (ボールプール)  
(視力程度と視野、スキャンニング)

$(0.3 \times 1)$

(45)

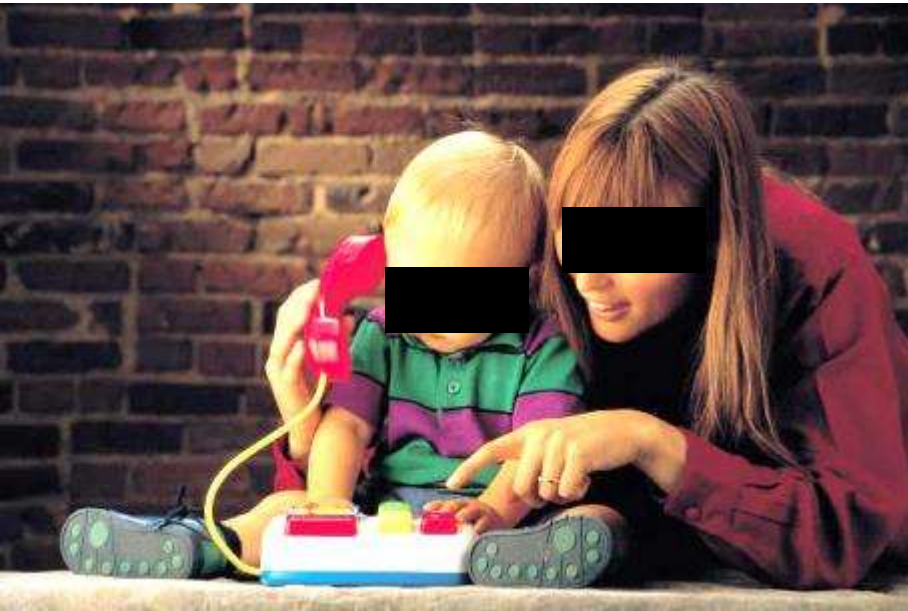
推定視力  
0.01程度

指の太さ  
(15mm)  
腕の長さ  
(0.5m)  
眼前50cm指  
数弁=0.01



# 盲教育の専門性

# 触察指導の基本



**身体軸を合わせるため、盲児を抱っこなどして、盲児の手と重ねて、自分が触るように、盲児に触らせる。**

**柔らかく、しなやかな指使いと、手のひらも使った「こねる」「まるめる」などの動作も楽しみながら行う。**



# 盲教育の専門性 触察の基本的動作

植物は根っこから、  
上に向かって



動物は、鼻から、  
毛並みにそって





## **2 歩行の指導**

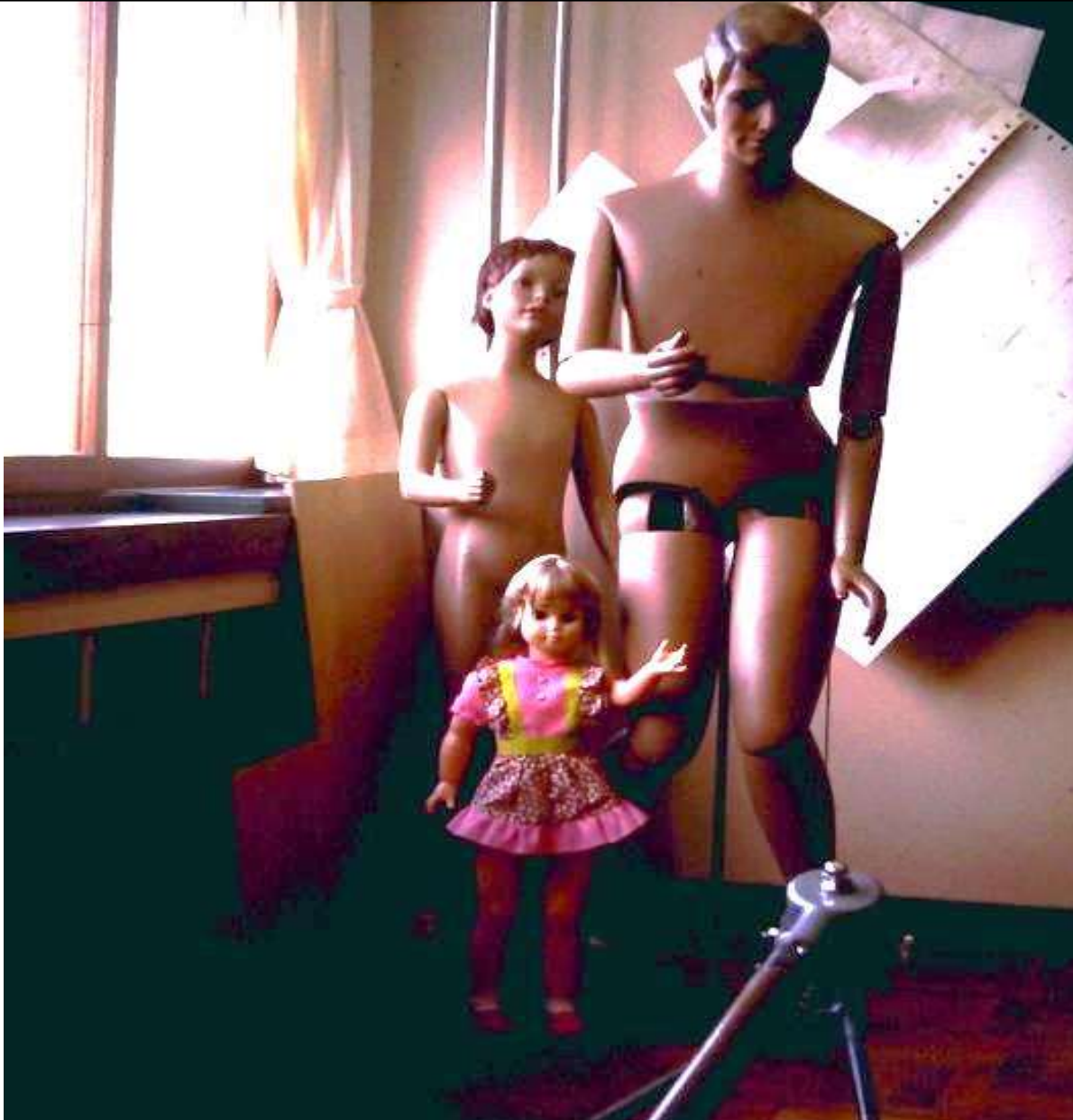


**ボディイメージ Body Image**

- ・部位名
- ・動作名
- ・絶対的方向 Laterality
- ・相対的方向 Directionality

**人形遊びは、ボディイメージを強化し、相対的方向も理解させることが可能になります。**

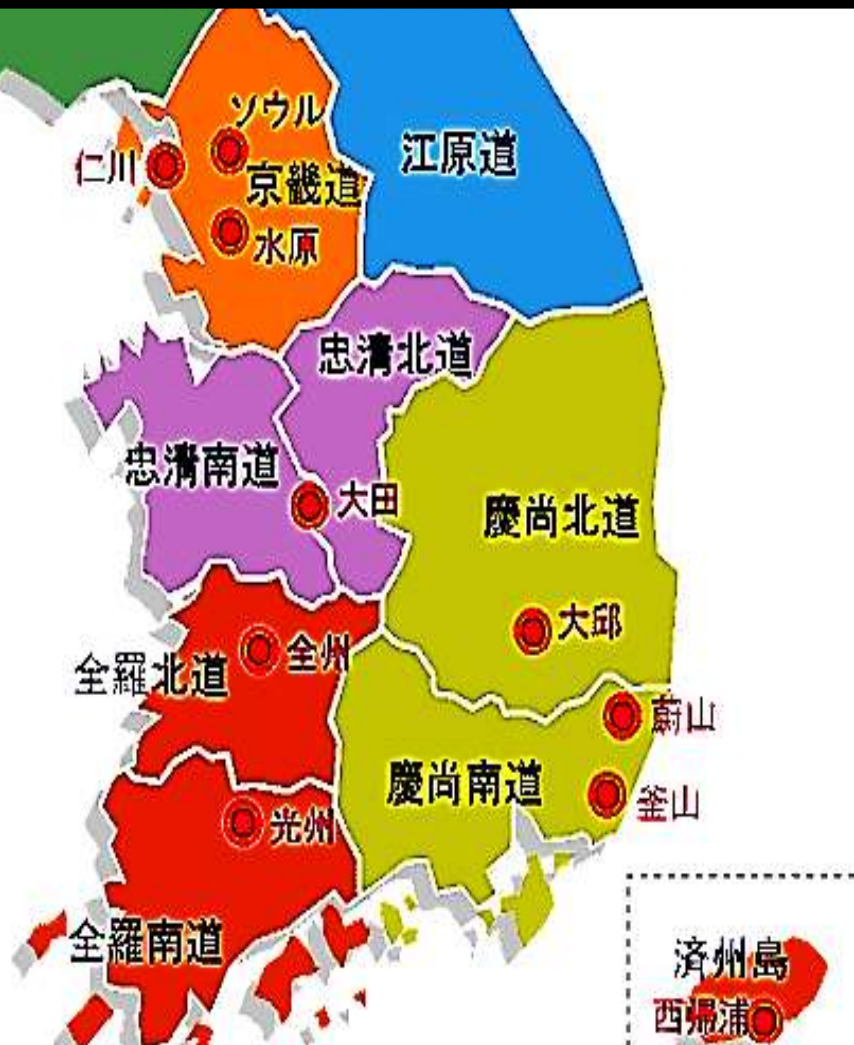
# 歩行の指導 ボディイメージ指導の教材



デッサン人形

# 歩行の指導

# 地図指導の日常的工夫



## マトリックス構造 格子地図



生活用品・教材等は、固定した箱に整理し、盲児が空間マトリックスを制御することにより、地図構成力の基盤を整えることができる。

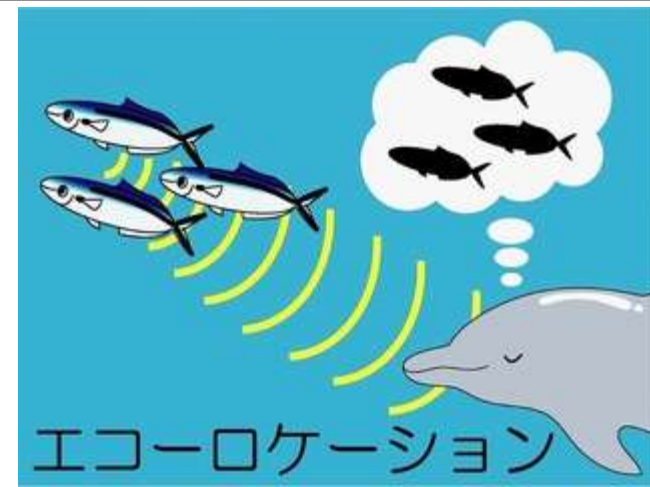
# 歩行の指導 「耳で見る」力の育成

## ◎音源定位

直接音を両耳の時間差と強度差で、  
音の発する物体と、距離・方向を認識

## ◎反響定位

反響する音を過去の体験と照らし合わせて、  
反響物体とその場の空間の広さ、距離等を認識





# 歩行の指導 もう幼児の白杖探索

白杖は、何かを見つけくれる。白杖は、音を出してくれる便利なツール



釣竿



バドミントン  
ラケット

筋力の低い盲幼児等に対して、通常の白杖は重たすぎることから、手元が太く、先が細いテーパ構造の白杖を自作・特製する。



# 歩行の指導 白杖の基礎知識

- ①視覚障害者のシンボル機能
- ②路面(凹凸等)情報の入力機能
- ③下方障害物の防衛機能

| 接地角度 | 白杖の落下力 | 下方物体の検出 | 腹部防御の高低 | 下方物体発見距離 |
|------|--------|---------|---------|----------|
| 30度  | 大      | 小       | 低       | 遠        |
| 45度  | 中      | 中       | 中       | 中        |
| 60度  | 小      | 大       | 高       | 近        |

# 歩行の指導 タッチ・テクニック

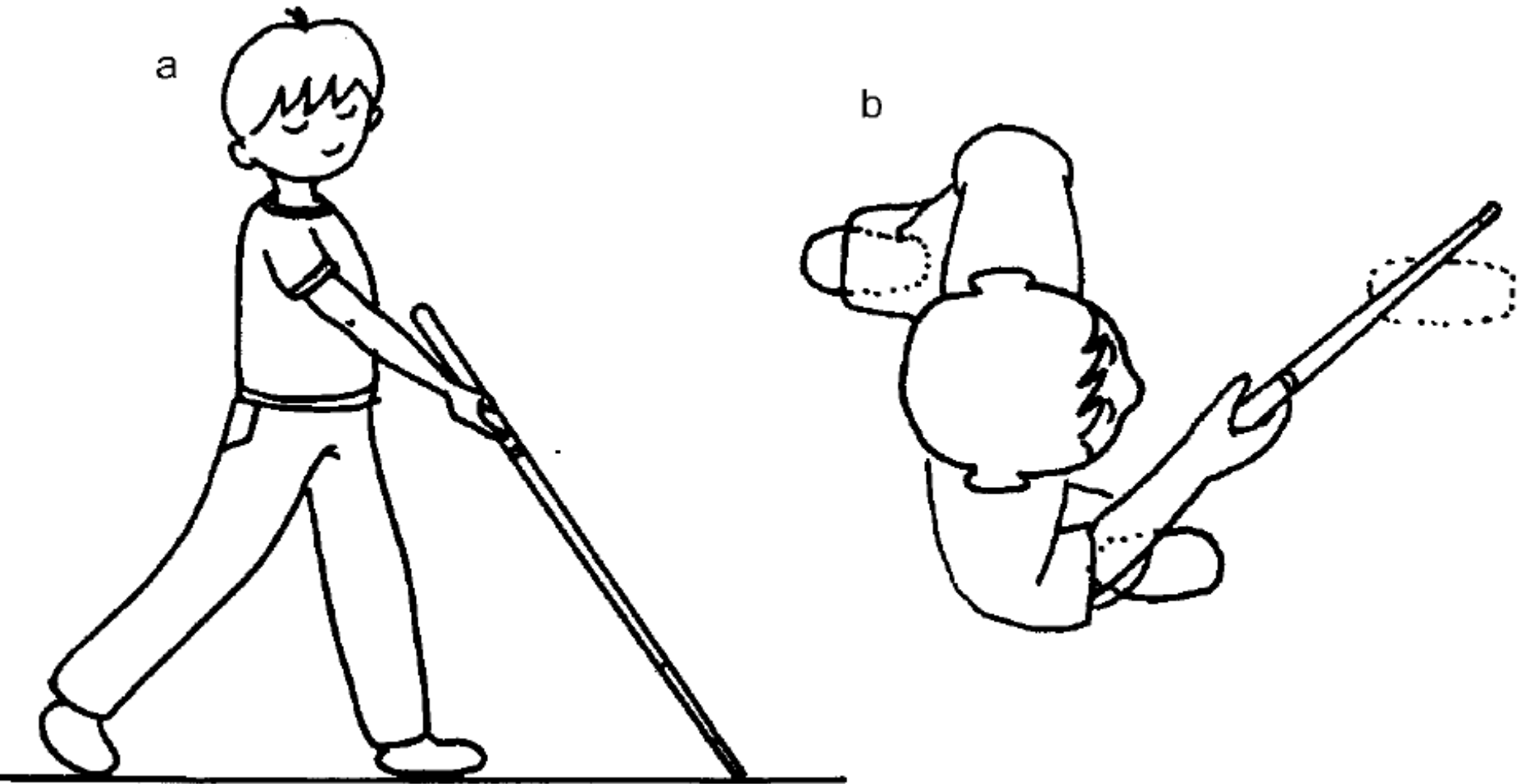


図 2-10 2点タッチ操作の白杖歩行

# 歩行の指導 ダイアガナル・テクニック

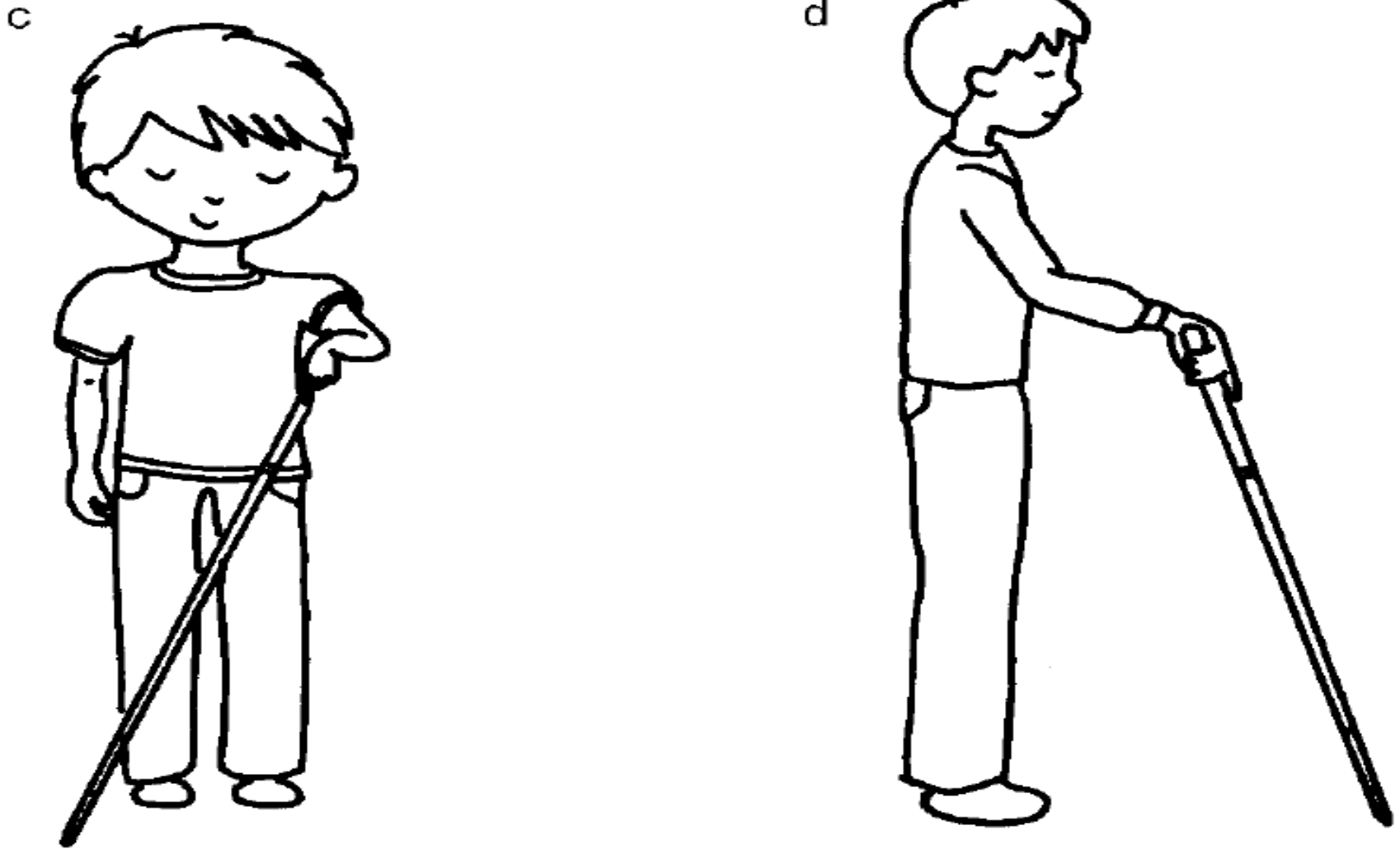


図 2-11 ダイアガナル操作の白杖歩行

# **3 文字の指導**

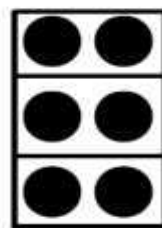
# 文字の指導 点字の基礎的指導

**食べ物や少々汚れ物でも何でも、  
触らせ、ぐちゃぐちゃにしたり、破っ  
たりと、音と共に体感させる。**

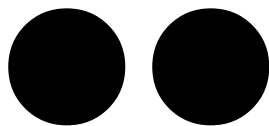
**→ 硬い物・軟らかい物、重た  
い物・軽い物、ぐにゅぐにゅした  
物・ぎゅっと締まった物、ざらざら  
した物・すべすべした物、冷たい  
物・温かい物など**

# 文字の指導 日本点字の基礎的知識①

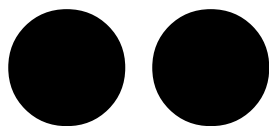
点字は、盲児の目



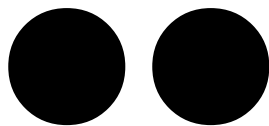
1890年  
石川倉次



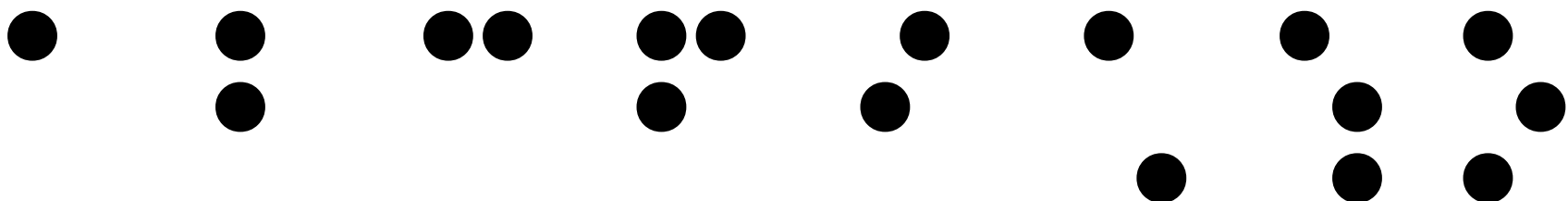
①④



②⑤



③⑥



ア

イ

ウ

エ

オ

カ  
6

サ  
56

タ  
35

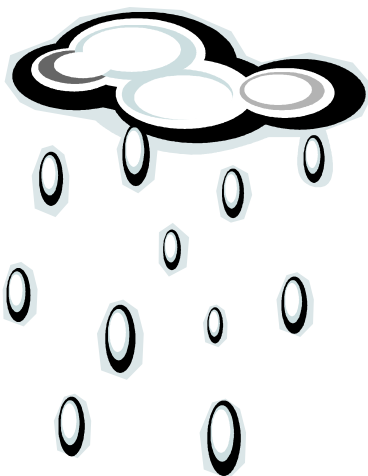
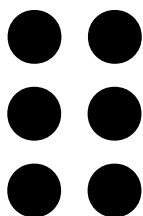


| あ | め                 | れ          | ふ              | う   | い      | に           | く            |
|---|-------------------|------------|----------------|-----|--------|-------------|--------------|
| ● | ● ●<br>● ●<br>● ● | ● ●<br>● ● | ● ●<br><br>● ● | ● ● | ●<br>● | ●<br>●<br>● | ● ●<br><br>● |

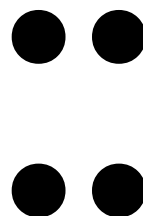
a



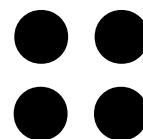
me



fu



re



# 点字の指導

# 盲幼児に対する補助具

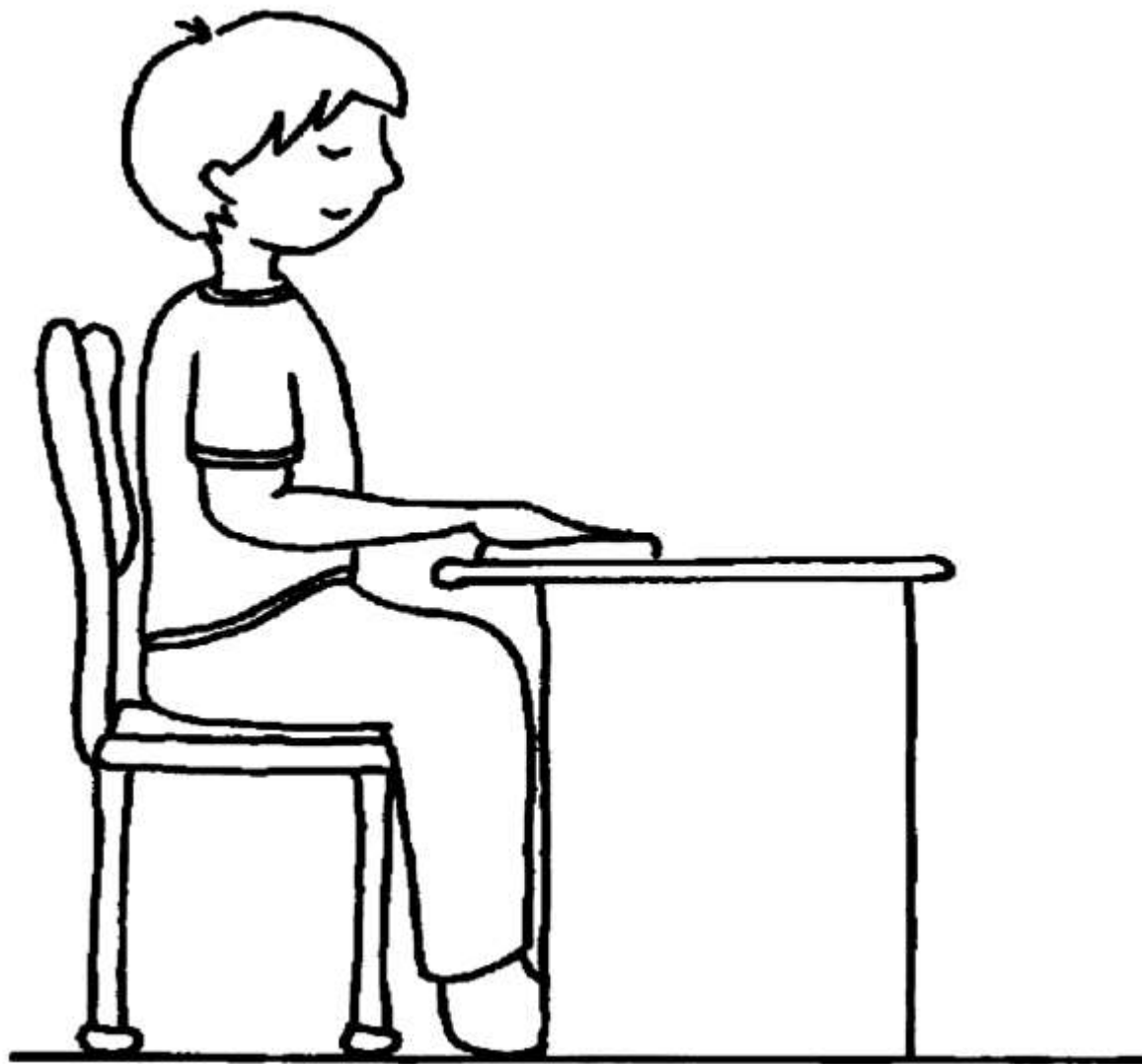


パーキンス製片手打ちキーセット

幼児期からのパーキンスブ  
レーラーによる触読・打字の  
連動的指導



# 点字の指導 足の裏を床に付け、膝は90度



- ・足・脚をブラブラさせない。
- ・聞き耳をつくらなくよう、留意する。

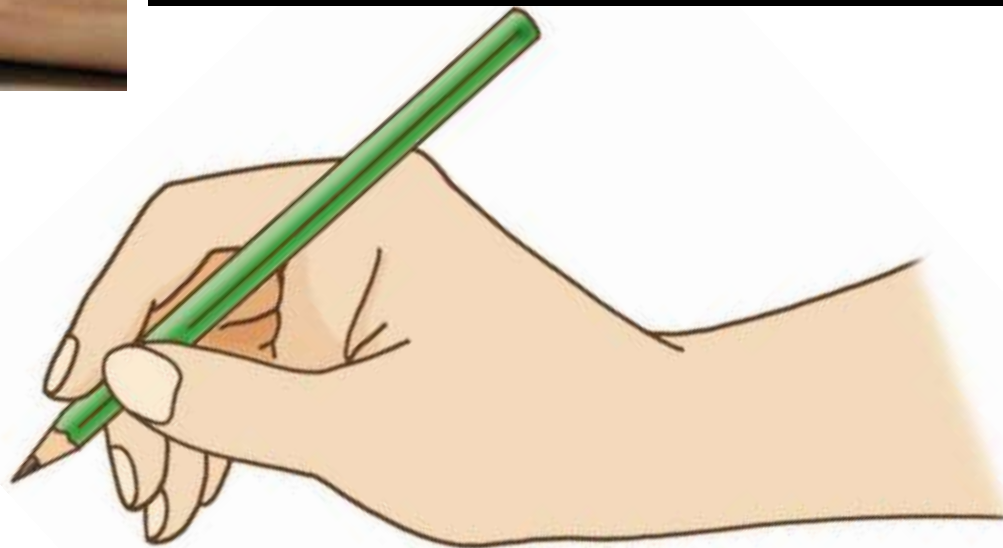
# 点字の指導

# ハングルの基礎的知識



盲児に筆記用具を正しく持たせるため、お箸を正しく使用することができるよう留意する。

韓国のお箸を正しく持った時、下側のお箸を抜いた持ち方が、筆記用具の正しい持ち方になっている。



# 点字の指導

例：日本の墨字

い こ り に け た し も  
|| 二 | 二 | 十 十 L L

|| 二 | 二 | 十 十 L L

普通児は、  
3歳程度から読み書きが可能

# **4 体育の指導**

# **盲学校体育をノーマライゼーションの理念で**

**鈴木重男 視覚障害№59「80年代の視覚障害児教育(9)」1982年**

**盲学校が人格陶冶・学習の場として一番適しているとの理由で、分離された状態におかれていて、ある時期に突然に社会的に統合されるわけである。体育を指導する者から見て、視覚障害児童生徒は、社会的・職業的に統合されるが、体育的に統合されることは極めて少ない現実がある。ここに現在の盲学校体育が考えなければならない点があると私は考える。**

**盲学校の体育とは何か、視覚的にハンディキャップを持った児童生徒にそのハンディキャップを埋めるよう補助し、配慮した、晴眼児童生徒と同じ内容の体育である。盲学校の児童生徒に晴眼児童生徒と共通した特殊性ある各連動のイメージを与えたり、各運動特有の技術を習得させる体育である。**

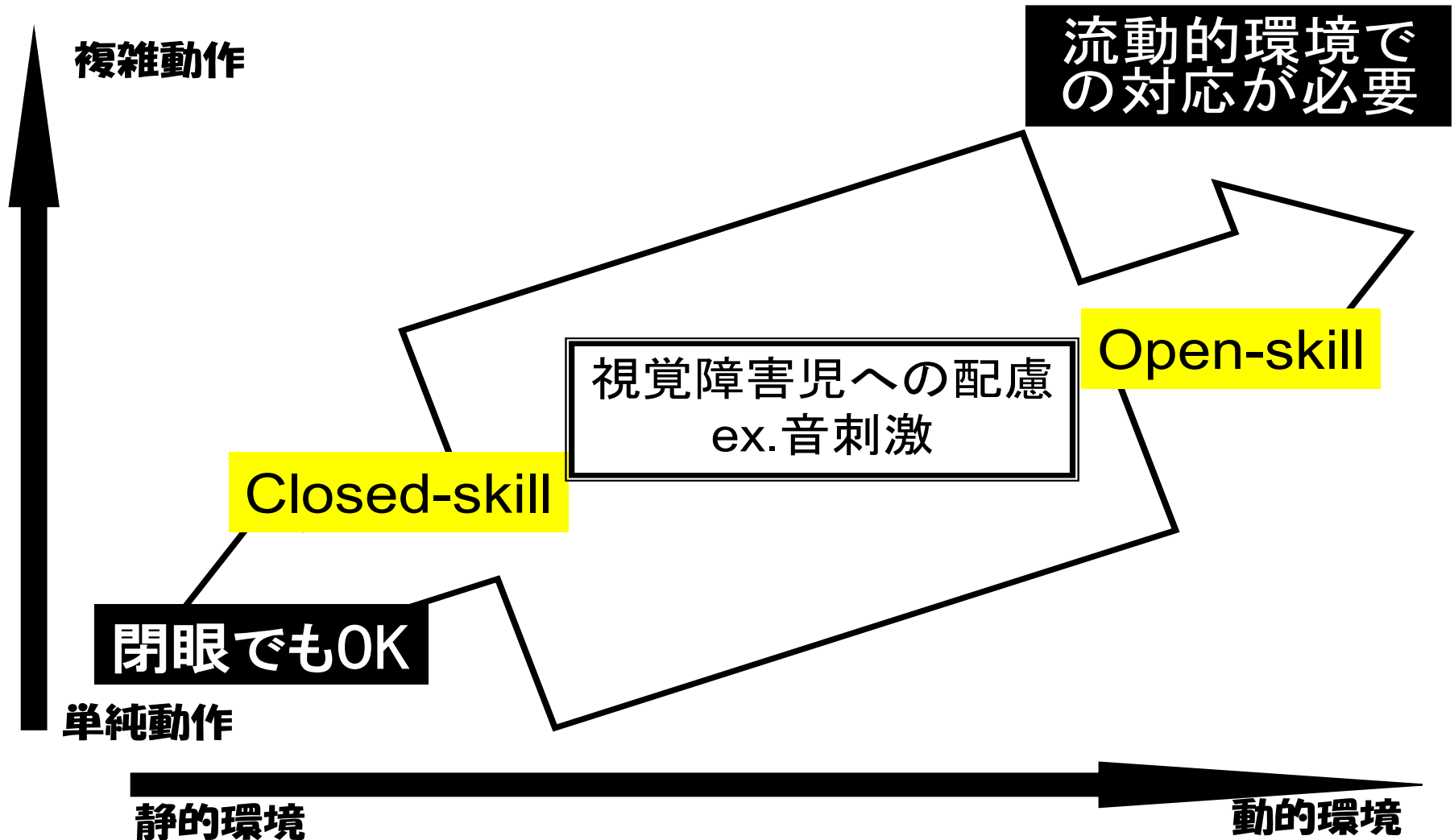
**盲学校児童・生徒の視覚情報量の少なさ、処理の劣っていることに指導意識を集中するのではなく、配慮してできるところを捜すことに集中しなければならないのではないのでしょうか。連続した視覚的能力のどこかで切られて、盲学校の児童生徒とならざるをえなかった者を受けもつものとして、なおさらその感を強くするのである。**



# 視覚障害児への体育指導

**Closed-skill（閉じた技能）：基礎技術**

**Open-skill（開いた技能）：応用技術**



# **Closed-skill(閉じた技能)**

**○運動感覚的フィードバック、固定された環境内での身体及び諸感覚器官の使用を含むが、行動に必要とされたものの予測が極めて持ちやすいのが特徴**

**○単調なものの反復によって、基本的技能または習慣的技能を習得させていく**

**○環境からは独立している**

**○身体像の形成、自己を中心とした空間の評価、空間軸の形成、身体移動のための基本的習慣形成が主なテーマ**

# **Open-skill(開いた技能)**

- 予測不可能な流動的な環境の要請で、予測が立とうが立つまいが、何らかの反応を強制されてくる刺激の中で遂行されなければならない場合に、知覚的技能が最大限に活用される**
- 視覚化及び心的地図の形成**
- 複雑な一連の運動又は、次々と連続して起こる運動の整合**
- タイミングの体得**
- 失明以前に行っていたような行動形式、ルールなどがそのまま適応される、すなわち視覚なしで失明以前に行っていたことを再び行うことが主なテーマ**

# 視覚障害児の運動・動作指導の視点

## 身体像Body image

- 体の部位Body parts
- 姿勢Posture
- 動作Body movements
- 自己を基準とした方向性Laterality
- 相対的な方向性Directionality



Orientation能力向上を主とした歩行指導

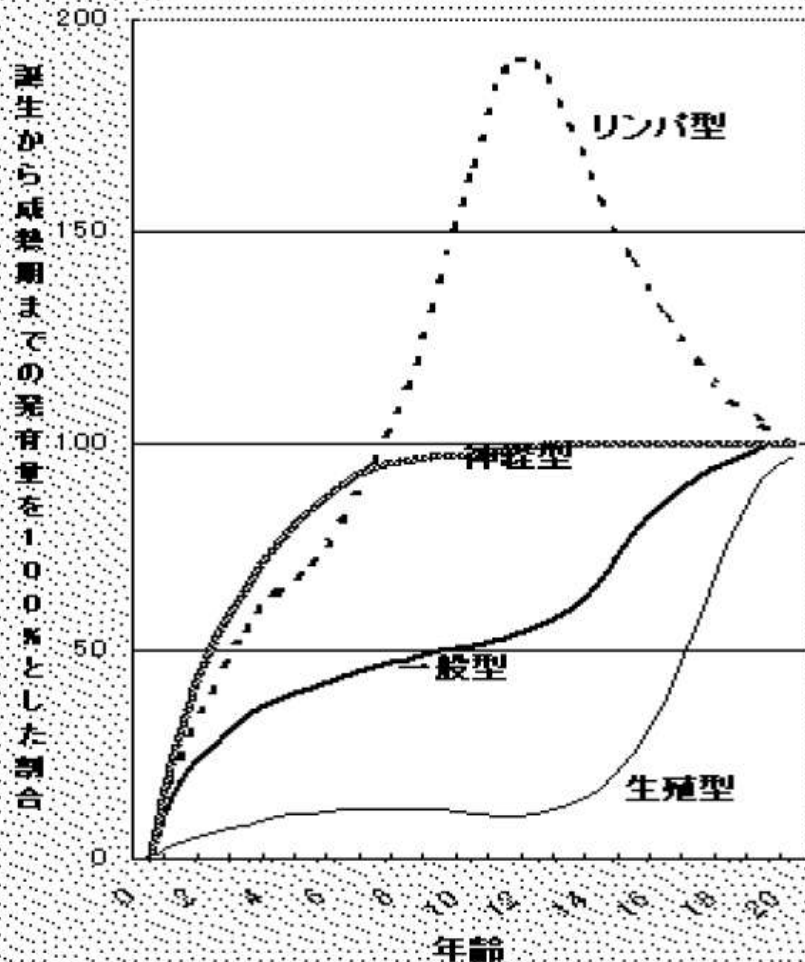
1968 AFB Bryant.J.Cratty他

THE BODY-IMAGE OF BLIND CHILDREN

# 視覚障害児の運動・動作指導の視点

<http://www.shizuoka-c.ed.jp/tobu/oldweb/section/gakkyou/kyoka/hotai/h18/kihonundou.pdf>

スキヤモンの发育曲线



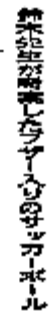
**プレゴールデンエイジ5歳～8歳頃**  
スキヤモンの发育発達曲线を見ると5歳～8歳頃は、神経系が著しく発達する時期

**ゴールデンエイジ9～12歳頃**  
神経細胞がまだつながりやすく、体力的にもいろいろな動作ができようになる時期 (『即座の習得』)

◎子どもにより、個人差があり、12歳時で±2歳の差異

◎小学生の時期は、神経系の発育が著しく、「基本的な運動動作の習得」を目標に、さまざまな運動や競技を体験させて、「動きをつくる」ことが大切

札幌育學校  
鈴木先生



蛇未だ往來中から返るや  
 と云ふカウ多ク罵て、蛇頭を  
 咬破はるの事報、蛇頭の  
 生にあらざるも、生蛇にに  
 よみカウ蛇頭咬かきいた  
 なみ、蛇死する中、サササ  
 カササといふ音が響く  
 た。若い蛇は生蛇に蛇死した  
 蛇の体の探査の中、ササ  
 カを取り入れると毒液が  
 入るやうな形で、毒人の生蛇  
 ササカを咬みながら、生蛇は  
 死したものの蛇未だ往來中と  
 した。

スピード感ハ



高等学校生徒にサッカーの指導をする鈴木重三先生

# 普通高校の 体育連盟 1982年 サッカー

動いているボールはなかに、コースを考え、目的をけるのは至難のワザ。メダ オマエノ」「イマノイ

カッタヨ」。鈴木重男監督のしつた激励の中、選手たちは声をかけ合い、右に左に走り回る。スピードをつけ、ゴール前に走り込んで、シュートを放つ。記者の目の前でゴールネットが一瞬大きく膨んで、ボールが落ちる。

全盲の選手はいない。とはいっても、全員が先天弱視、視野狭窄、昼盲、夜盲などで、メガネで矯正しても〇・〇三から〇・二までの視力。全員がレンズのないスキーのゴーグルをかけている。衝撃から眼を守り、またメガネを保護するためのが、これを除けば普通の高校サッカー部の練習風景だ。

しかし、止まったボールを見失う選手がいる。ボールの動く音で位置を確認しているからだ。ヘディングなどの空中戦はできない。「彼らは有名選手のプレーを盗むことができないうです。細部が見えないから……」。だから、本人の足首を曲げて、ボールを当てる位置を教えたり、全く、手とり足とりですね」と監督は苦労話を語る。続けて、

「彼、なかなかやるでしょう。あれ今日初めてできたんですよ」とこわもての顔がゆるむ。「とにかく、サッカーが好きだ」という選手たち。確実に「力」をつけているようだ。

練習時間は午後四時に始まり、三十分の夕食休憩をはさんで七時まで、正味二時間三十分。全員が寮生活だ。練習が終わると寮での

## 眼

見えなくても  
サッカーはできる  
高体連に加盟した  
北海道高等盲学校



▲左は鈴木監督

いろいろな当番が待っている。

「おまえ、風呂当番だろ？ 後片付けはいいから早くいけよ」とチームワークもピツタリだ。



1983年～  
レスリング

S59.10/27

(無印郵便物認可)

道高等盲学校  
レスリング部

目の不自由な人たちが通う、札幌市中央区北の道高等盲学校(原一校長、百五十人)のレスリング部が、一歩一歩確実に力をつけている。健常者と同じ舞台で戦い、勝つことを目的とした積極的なレスリング部。今年の国体選手選では指導する先生が優勝したほか、三人の生徒が上位入賞を果たすなど、充実ぶりが目についた。発足からちょうど二年。「いつか生徒の中から全国大会出場者を出そう」という部員の目標に、もうすぐ手の届くところまでやってきた。



弱視を「フォール」



田中良広さん(25)  
—レスリング・成年男子フリースタイル57kg級

く、相手を倒して肩をマットにつけることしか考えません。  
○・○六、矯正しても○・三の視力にしかならない。札幌盲学校時代の恩師であ

なフォール勝ち。しかし、競技歴は極めて浅い。札幌盲学校三年のとき始めたのですが、大学(北星学園)では全くやらず昨春の卒業後、再びやり始めたのです。いわば素人です。これといった得意技もな

自らは先天性の白内障で、左目は光がよつやわかる程度。右は裸眼で

る鈴木さんが、一年半ほど、較的カパーでできる競技なんて前に生徒たちにレスリングを教えたのを聞いて手に入り、一緒に練習してきまし

「健常者とも互角に

午後四時、レスリング部の練習。筋力トレーニング、実戦的な組手が始まる。準備体操にはじまり、と、思つてひまのない練習が視

つ暗だ。なぜ、レスリングを始めたのか。一部を指導している鈴木重男先生(58)は「以前にサッカーをやったことがあったがやはり無理で

国体予

した。でも、レスリングならばやり方次第では健常者と互角にやれるし、勝つチャンスもあると思つたからです。鈴木先生の専門はサッカー。サッカーでは昨年、今年と二年続けて国体の北海道チーム(成年)の監督を務めたほどの人だが、レスリングは全くの素人。最初のうちは生徒たちを連れて北海道レスリング部を訪れ、手取り足取り、教えてもらった。

国立特別支援教育総合研究所  
教育支援部総括研究員



鈴木(左)田中(右)先生に見守られながら練習に励む部員たち

# 5 雪道の指導

# 北海道の雪道の歩行





# 雪道の指導

# スノーチップの開発

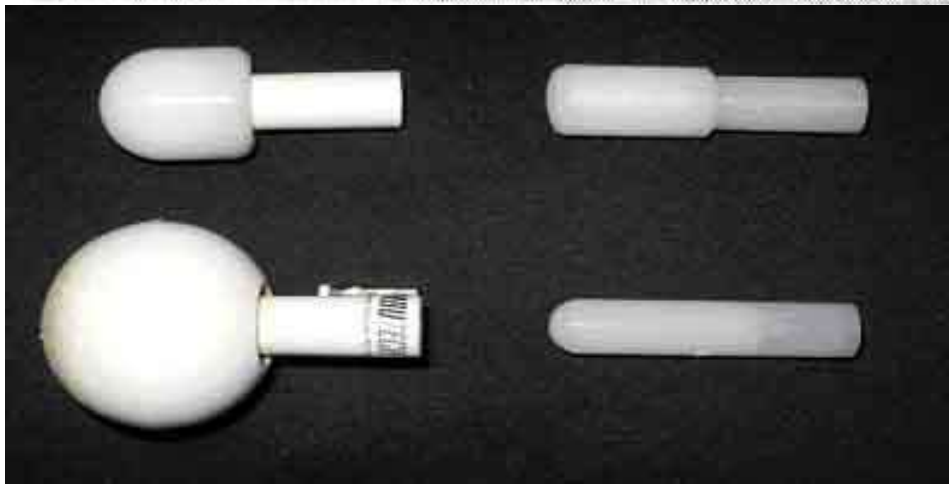
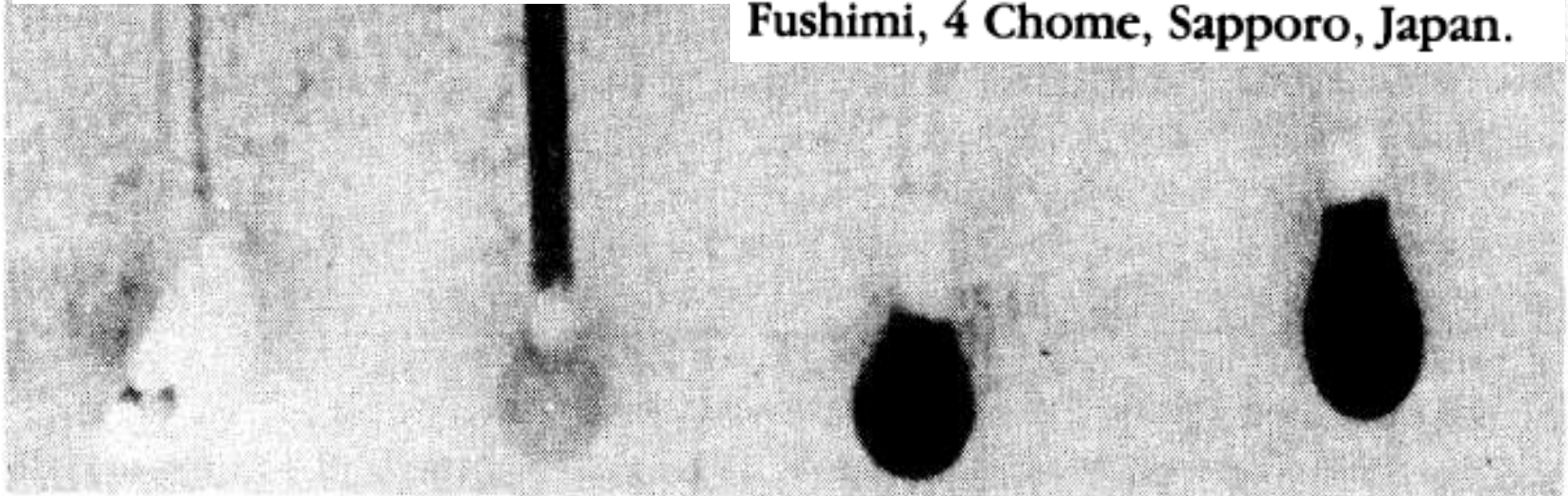
JOURNAL OF VISUAL IMPAIRMENT & BLINDNESS

JANUARY 1985

## Winter Traveling in Hokkaido Land Japan

Sigeo Suzuki

Hokkaido High School for the Blind,  
Fushimi, 4 Chome, Sapporo, Japan.



## ☆スノーチップの開発（昭和46年から）

雪に白杖が突き刺さらないアタッチメントを開発するため、石付にプラスチックボールやピンポン球など付けて実験した。ゴムスポイトが、雪路面情報を的確に捉えることが分かり、ジオム社でスノーチップと販売

## ☆雪道パターンの抽出（昭和49年頃から）

3年間、定点等で雪路写真を記録し、降雪時期を3期に分けた。

### ○降雪初期

太陽熱や車の交通によって、アスファルトなどの路面が出るが、道路の両端にはシャーベット状の雪が残る。

### ○本格的降雪期

歩行者が通り抜けるための出入り口を持つ交差点パターンや、車道と歩道を隔てる道路パターンなど特有のパターンを呈する。

### ○融雪期

凍結した歩行路面と、アスファルトが露出した車道の組み合わせが基本になる。

# 吹雪



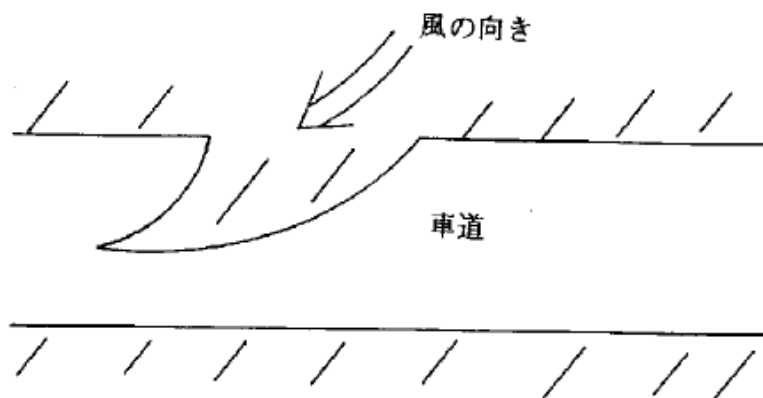
引用<http://www.47news.jp/PN/200902/PN2009022101000266.CI0003.jpg>



引用<http://art45.photozou.jp/pub/724/141724/photo/116373855.jpg>

乾いた雪が降り、風が強い日に出来る。安定した雪路パターンを一変させる。

図13



# 吹きだまり





# 雪道の指導

# 日変化パターン



除雪前



除雪中

日変化



除雪中



除雪後

# 雪道の指導

# 月変化パターン



排雪作業  
月変化



排雪前



排雪後



# 雪道の指導

# 時期変化パターン

本格的降雪期



融雪初期

時期変化

融雪後期



# 雪道の指導

# 雪路パターン-1

ア 歩行路の形状 : 障害物を避け蛇行する。

図21



イ 車歩道の区別のない道路の道端の状態

図22

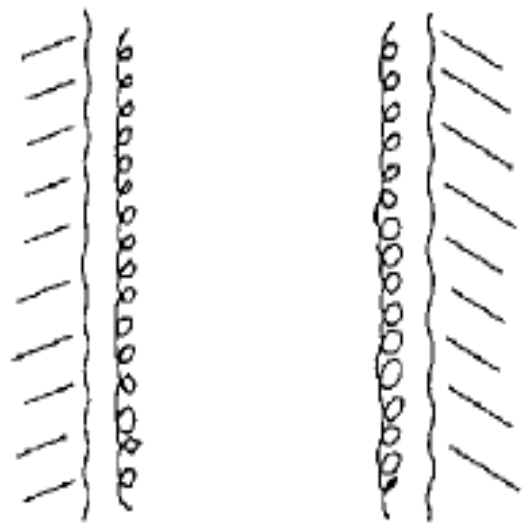
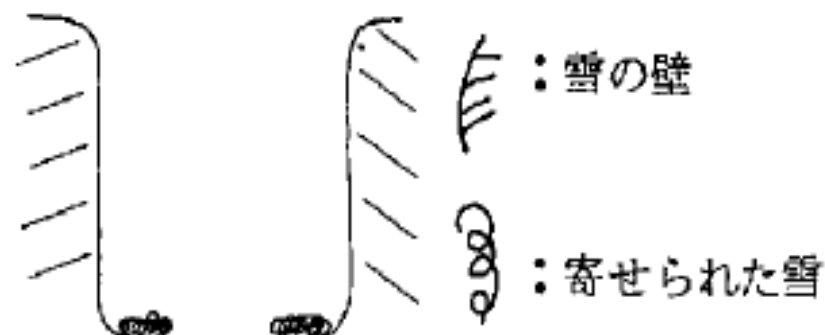


図23 図23の断面図



# 雪道の指導

# 雪路パターン-2

ウ 車歩道の区別のある道路の形状

図24

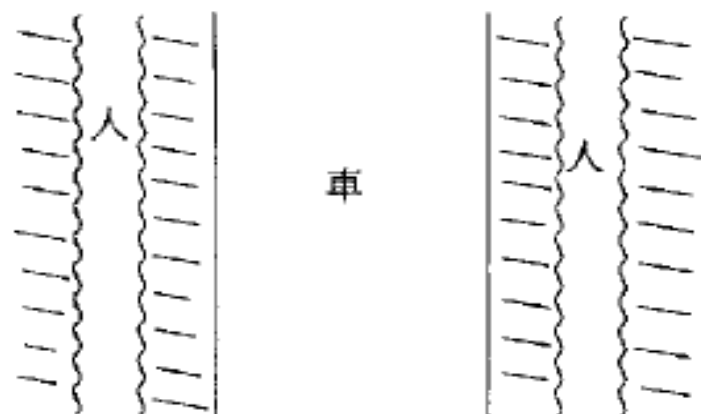
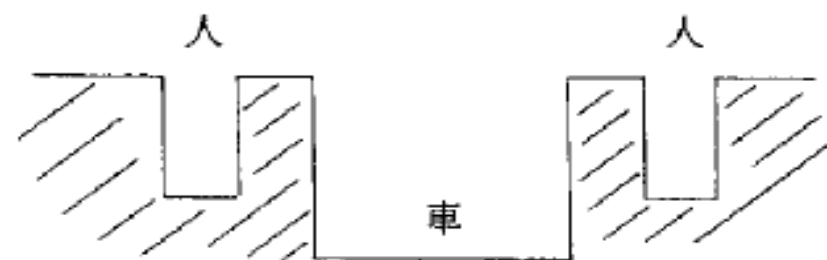


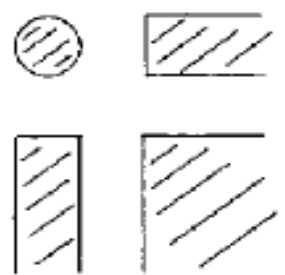
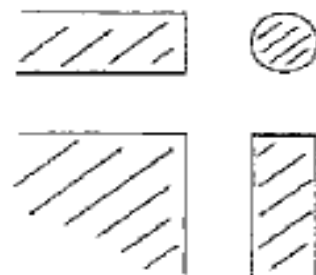
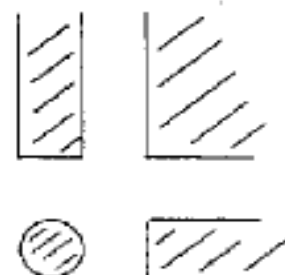
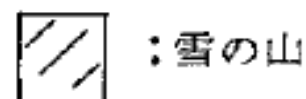
図25 図24の断面図



エ 車歩道の区別のある道路同志の交差

点の形状

図26



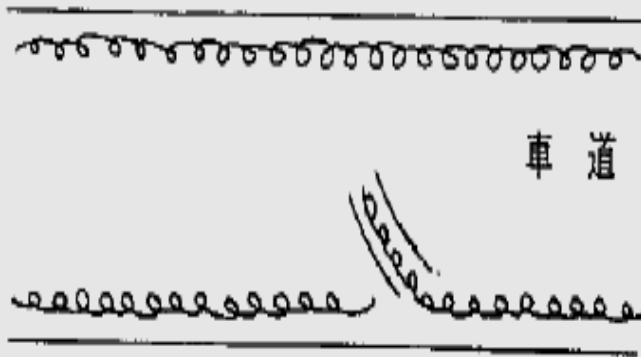
# 雪道の指導

# 雪路パターン-3

わだちは、新雪時に出来る凸型と、除雪状態の悪い道路や、融雪期に出来る凹型がある。

(ア) 凸型のわだち

図14



~~~~~ : 車に寄せられた不規則な雪

~~~~~ : わだち

## 凹型・凸型 わだち

## 白杖での 雪壁への 確認動作





# 雪道の指導



# ランドマークと雪

冬、ランドマークは雪で覆われ、白杖による検出が不可能になる。K-Sonarでは検出が可能。

夏と同じオリエンテーションポイントとして、道端の木工店から、木の香り、電気鋸、カンナの音が聞こえる。





# 雪道の指導 服装等の工夫

グレア防止として、サングラスを装用

|    |          |                                                   |
|----|----------|---------------------------------------------------|
| 手  | 手袋       | ・白杖の情報をよく伝達する皮や薄手の毛糸                              |
| 頭  | 帽子       | ・交通音等を遮らないつばなしの帽子<br>・フードを着用するのはご法度               |
| 耳  | 耳かけ      | ・音を通過させるイヤークォーマー<br>・フードを着用するのはご法度                |
| 服装 | 色のついた防寒服 | ・上下、軽量の防寒服を着用<br>※寒くなると落ち着いて考えられなくなる              |
| 靴  | 滑り止め付き靴  | ・スパイク付は、ピータイル等で滑るので室内では注意<br>・生ゴム系が凍結路面でも室内でも滑らない |

# 家庭との一体化 誉めて育てる : 自尊心を育てる



学校の教師は、  
保護者の心の安定化を図る工夫  
→ 学校で、できたことを連絡



**この度、江原明進盲学校との関りを持つことができ、感謝の心で一杯です。この夏の福島県立盲学校での研修講義をきっかけとして、金日明先生と明進盲学校校長先生はじめ李先生のお陰で、皆様方と出会うことができました。感謝申し上げます。**

**来年の春には、今回より専門性を深めた内容をお伝えいたしますし、夏には超音波を活用したことも含めて、皆様方のリクエストに応えるような内容でお話したいと思っております。私は、この3回の研修を通して、故田寛道先生から頂きましたお心への感謝の一端を果たしたいと願っております。**

**社会福祉法人明日佳  
社会福祉法人長沼陽風会  
顧問 鈴木重男**